



えんじゅ

春日市立春日小学校

校長室便り No.12

令和2年9月24日

文責：校長 福島

先生の仕事 ～指導方法工夫・改善編～



今回は指導方法工夫・改善に関わる先生の紹介です。ちょっと難しい言葉ですが、学習指導に関わる、担任でない先生ととらえてください。学級担任制を基本とする小学校において、学校全体の教育力を高めるとも重要な役割を果たしています。

宮崎先生は、5・6年の理科を担当します。高学年理科については中学校のように教科担任制をとっています。宮崎先生の専門性を生かし、授業は基本的に理科室で行います。実験の準備等の時間も十分確保できるので、充実した学習が展開されます。また、春日小の美しい花々も宮崎先生の指導のたまものです。近い将来、高学年の理科・外国語・算数は教科担任制になると新聞等でも報道されています。専門性を生かすということです。

柳本先生は、2年2組の田中先生が初任者研修を教室外で行う時間に授業を行っています。2年2組には担任が2人いるという感覚です。子供たちは2人の先生を信頼し、若い田中先生とベテランの柳本先生がそれぞれに子供のよさを引き出します。

藤原先生は、1学級の人数が一番多い3年の指導をサポートします。3年生全児童の家庭学習チェックをしたり、教材の準備をしたりして担任が子供に向き合う時間を生み出しています。また、全学年の主任学級に週1時間指導に入り、学年運営がスムーズにできるようにしています。

森木先生と永松先生は、算数を担当します。森木先生が1・2年の全学級、永松先生が3・4年の全学級の指導に入ります。担任と2人で学習指導を行ったり、学級を2つに分けて指導したりする等、効果が上がる指導方法を工夫します。積み上げが重要な算数を低学年から丁寧に指導し、すべての子供にわかる喜びを味わわせたいと考えています。

いい教育をするには先生のゆとりが必要です。学級担任制を基本にしながらも、チームを組んでゆとりを生み出し、子供のよさを伸ばしていきます。